

修了式 校長講話要旨

○弥生3月

旧暦では、3月のことを弥生といいます。弥生とは「いやおい」から転じた言葉ですが、「いよいよ生い茂る」というような意味合いです。長い冬が終わって、温かくなって草木が芽吹いてだんだん大きくなるという意味で、弥生という言葉になったと言われていています。先月、暦の話をしました。マーチ、3月が1年の始まりと捉えてもいいかもしれません。

弥生といえば、日本史では弥生時代を連想します。縄文時代の次の時代です。弥生土器が象徴する時代です。これは東京の本郷向丘弥生町から出土した土器に由来します。現在は東京大学農学部の敷地内で、3か所ほど記念碑や看板があり、出土した候補地がありますが、実際にはピンポイントでの出土地ははっきりしません。私も実際に東大の農学部に行きましたが、向丘の名の通り、日当たりのよい場所で、この辺りといった場所になるでしょう。

この土器の発見から、弥生時代、稲作を中心とした、本格的な日本の歴史が始まりました。その意味でも弥生という言葉は始まりや、瑞兆、大変めでたい良い言葉としてとらえられます。

弥生は春です。春は旅立ち、新たな出発の時です。1日に高校の卒業式を行いました。また、昨日(18日)、69人の中学校の卒業式を行いました。このまま本校の高等学校課程に進む人が大半ですが、何人かは他の高校へ進学する人がいますので、昨日で本当にお別れになりました。

○1年を振り返って

今日は今年度2023年度の修了式です。今年度の学校全体としての教育活動は一区切りということになります。さて、この1年間の成果は、皆さんはどうだったでしょうか？

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は未だに終わらず、さらに加えてパレスチナでは新たにイスラエルとハマスの紛争が始まるなど国際情勢は不安定なままです。

今年度は3年を超える世界的なパンデミック・コロナ禍もようやく収束に向かって、学校生活は、恐る恐る平常に戻ってきました。しかし、マスクを着けたり、大勢の人が集まるような公共空間では、検温や消毒をしたりしなければなりません。学校行事はほぼ予定通り実施できましたが、新型コロナやインフルエンザなどの感染症のため、学級閉鎖やオンライン授業になってしまうこともありました。そのことも、もはや日常なのかもしれません。

私自身のことを言えば、初めての本校での仕事で体験することが多く、「エキサイティング」な1年間でした。皆さんもエキサイティングできたでしょうか？

学校としては6月のスポーツフェスティバル、9月の創造祭が全体で行うものでしたが、多くの人が参加したフジテレビの新しいカギの「学校かくれんぼ」の参加も忘れられないでしょう。他は中学校・高校、それぞれのコースごと、学年ごとに行事がありました。それぞれの目的に合った活動ができたのではないかと思います。

○3月1日の高校卒業式で話したこと

式辞の一部を紹介します。

「予測不可能な時代、正解のない時代をどう生きていくか。雑多な情報に満ち溢れ、情報過多の現

代社会は、ビッグデータ、情報を活用しなければならないとされる時代ではあります。とはいえ、多くの情報に惑わされがちです。「待てよ」と立ち止まって思考の前提条件や、解決策についての妥当性、正当性をきちんと考察していくことが必要です。

物事の本質を見極める目、思考、判断が求められます。そのためには、学問の本源に遡って、本校の創立の精神「諸学の基礎は哲学にある」ことの意味を考えてほしいと思います。「なぜ、なぜ、なぜ！」を追究して、多角的な見方、捉え方のできる思考力ができるようにしてほしいと思います。これからの生きる指針としても大勢に流されることなく、「なぜ、なぜ？」の思考を重ねて行動してほしいと思います。」

このことは卒業生に限らず、今の若者全体に心がけてほしいことです。また、「今までやってきたから」「そのまま受け継ぐことが伝統だから」といった考え方ではなく、今までの固定的な常識や前例にとらわれず、自分たちにとって何が一番必要なことなのか、ねらいを明確にして、新たな方策・取り組みを考えてほしいと思います。「伝統」を受け継ぐことも大切なことですが、その伝統に新しい要素を加えること、あるいは大きく変革することも、これからの時代を生きる皆さんに期待されることです。

○来年度への展望です

来年度、4月に本校は創立60周年を迎えます。詳しくは始業式にお話ししますが、予告編として、60周年に合わせていくつかの変革をする予定です。

●3学期制に移行します

現在の学校の状況等を勘案して、学則を改正して、2学期制から3学期制に変更します。3学期制にすると、10月中旬の前期・後期の間の期間休業日はなくなります。

●学校行事の見直しについて

1月にお話ししたように、本校として新しい取り組み、学校が一つにまとまり、学校への愛着や誇りを一層高めることと、各コースの特色化をより明確にしようと考えています。

① 校外での宿泊行事の内容の見直しと日程等の変更について

他にも各コースの目的にあった行事の変更等も考えています。

② 体育祭の実施

6月10日（月）に東京体育館で中学校・高校合同の体育祭を行います。現在先生方、そして生徒会役員などで準備委員会を作って進めているところです。全校が一体となって行事を作っていくたい、新しい伝統を作りたいと考えています。